

授業科目 義肢装具自立支援概論

【担当教員名】 東江 由起夫 他		対象学年	1	対象学科	義肢
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
○		○			
【概要・一般目標：G10】 高齢者や障害者を対象とした義肢装具や福祉用具の概要を理解する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 義肢装具や福祉用具の用語、定義および分類を説明できる 2. 義肢装具や福祉用具を必要とする対象者について説明できる 3. 義肢装具や福祉用具の関連職種について説明できる 4. 義肢装具や福祉用具の関連会社について説明できる 5. 義肢装具や福祉用具に関する医療や福祉制度について説明できる 6. 義肢装具士になる意欲が高まる。 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	機能障害に対して義肢装具で何ができるのか その1			1, 6	外来講師 光野氏
2	機能障害に対して義肢装具で何ができるのか その2			1, 2, 6	
3	機能障害に対して義肢装具で何ができるのか その3			1, 2, 6	
4	機能障害に対して義肢装具で何ができるのか その4			1, 2, 6	
5	車いす・シーティング業界に関するお話			1～6	
6	装具の各部の名称と定義 その1			1, 6	
7	装具の各部の名称と定義 その2			1, 2, 6	
8	義足の各部の名称と定義 その1			2～6	
9	義足の各部の名称と定義 その2			1, 6	
10	義肢装具の歴史と業界			1～6	
11	義手の各部の名称と定義 その1			1, 6	
12	義手の各部の名称と定義 その2			1, 2, 6	
13	義肢装具・福祉用具の歴史と業界			4～6	
14	義肢装具・福祉用具の市場			4～6	
15	義足ユーザーの方の体験談			3, 6	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 最終筆記試験 70%、小テスト 30%			【履修上の留意点】 原則、欠席1回につき-5点、遅刻1回につき-3点を最終評価から減点する。また遅刻2回で1回の欠席とする。 授業の1/3を欠席した者は、原則、科目評価資格を失うものとする。		